

令和5年度看護部教育研修計画

【新採用研修】

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
看護部オリエンテーション (1時間)	国立病院機構南岡山医療センターの職員として、看護部の概要を知り、組織の一員としての役割を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアラダーを理解することができる 2. 当院看護部の組織について理解することができる。 3. 当院看護部の教育体制を理解することができる 4. 社会職業人としての態度（報告・連絡・相談含む）を身に付けることができる 5. 看護師の倫理綱領を理解することができる
看護補助者体制充実加算研修 (30分)	看護職が看護補助者との協働推進のために必要な知識や考え方を理解し、現場での安全な業務実施のための役割分担や業務指示に活用することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護補助者との協働の必要性について理解できる 2. 看護補助者の制度的な位置付けを理解できる。 3. 看護補助者と協働する看護業務と業務実施体制の基本的な考え方について理解できる 4. 看護補助者への業務指示を行う看護師の指示責任について理解できる 5. 看護補助者との協働のためのコミュニケーションの方法について理解できる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の看護補助者の業務範囲・業務マニュアルを確認することができる 2. 看護補助者に対し、業務範囲を理解した指示を行うことができる
薬剤の危険性と内服与薬の方法 (1時間20分)	基本的な薬剤の取り扱いについて知り、安全な内服与薬方法を習得することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤に関する基本的知識が理解できる 2. 内服の目的と必要性について述べることができる 3. 内服薬の作用、副作用について理解しておく必要性がわかる 4. 内服薬の形状・内服方法がわかる 5. 内服与薬における注意点を述べることができる 6. 処方箋の見方が理解することができる 7. 正しい患者・正しい投与経路・正しい薬剤名・正しい薬剤量・正しい時間・正しい目的（以下6Rとする）を述べることができる 8. 6Rの確認の際に、声だし・指差し確認をする重要性がわかる 9. 内服与薬時の観察項目を述べることができる 10. デモンストレーションを見て、内服与薬の一連の流れを理解することができる 11. チェックリストに沿って内服与薬を実施できる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声だし・指差し確認を行いながら内服与薬を実施することができる
電子カルテ・コスト管理について (2時間)	電子カルテの基本的操作を行うことができる。 システムを理解し、コスト意識を持つことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々行う看護に必要な電子カルテの操作を行うことができる。 2. 部署で使用する物品の請求・補充などの流れを理解する。 3. 診療報酬に基づいたコスト・物品管理の必要性を理解する 4. 物を大切にすることを心がける。 <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電子カルテチェックリストに沿った項目の電子カルテ操作を実施することができる 2. 診療に関連する行為について、コスト入力を漏れなく実施することができる

<p>自分が目指す看護師像 (30分)</p>	<p>自分が目指したい看護師像について明確にできる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自分が目指したい看護師像を言語化することができる 自己の思いが他者に伝わるように話す事ができる 自分が目指す看護師像を考え一年間の目標を考えることができる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分が目指す看護師像になるための目標・計画を立案することができる
<p>看護技術研修 —吸引・酸素療法— (吸引:2 時間、酸素:1 時間)</p>	<p>吸引・酸素療法を行う上で必要な知識が理解でき、現場で安全に実践することができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 吸引に必要な物品を列挙することができる。 吸引時に必要な感染対策について理解することができる。 吸引を正しい手順に従って実践することができる。 酸素療法に必要な物品や方法を理解する。 酸素療法を実施するにあたり、正しい手順に従って実践することができる。 <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者の苦痛に配慮して吸引を安全に実施することができる
<p>輸液ポンプ・シリンジポンプ (1 時間)</p>	<p>手順に基づき安全に輸液ポンプ・シリンジポンプの設定、アラームへの対応ができる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 輸液ポンプ・シリンジポンプの目的と必要性について述べる 輸液ポンプ・シリンジポンプの構造について述べる 輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい設定方法（流量・予定量の入力、ルートに機械にセットする）を理解する アラーム時の対応策について述べる 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時に起こりやすいトラブルについて理解する 手順に沿って必要物品を準備することができる 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時の一連の設定動作を手順に従って実践できる 患者の環境調整を行う重要性を認めることができる 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用中の患者の観察項目を述べる 輸液・シリンジの交換を手順に従って実践する <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液ポンプ・シリンジポンプの一連の設定動作を実施できる 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時の患者の観察が実施できる
<p>人工呼吸器の取り扱い (1 時間)</p>	<p>人工呼吸器の基本的知識が理解でき、設定の確認とアラーム対応ができる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 人工呼吸器の構造が理解することができる 人工呼吸器の設定確認方法を理解することができる 人工呼吸器のアラーム時の対応策について述べる 人工呼吸器使用時に起こりやすいトラブルについて理解することができる 人工呼吸器の設定確認を実践することができる 人工呼吸器装着患者の観察項目を述べる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 人工呼吸器装着患者のアラーム対応・設定確認を先輩看護師と実施できる
<p>看護技術研修 —点滴静脈注射（静脈留置針挿入）— (1 時間)</p>	<p>正しい知識・技術で根拠に基づいた点滴静脈注射を実施することができる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 点滴静脈注射（静脈留置針挿入）の目的・適応を述べる 血管や神経の解剖学的構造を理解し、第一選択の血管を述べる 点滴静脈注射における合併症と注意点を述べる 正しい患者・正しい投与経路・正しい薬剤名・正しい薬剤量・正しい時間・正しい目的（以下6R とす）を述べる 必要な物品を準備することができる 使用物品のそれぞれの特徴と選択理由を述べる

		<p>7. 静脈留置針挿入時の観察項目を述べることができる</p> <p>8. チェックリストに沿ってシミュレーターに静脈留置針を挿入することができる</p> <p>9. シミュレーターに静脈留置針挿入後、ルート固定ができる</p> <p>10. 点滴静脈注射中の患者の観察項目を述べる</p> <hr/> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 手順に沿って点滴静脈注射が実施できる</p> <p>2. 点滴静脈注射（留置）中の患者に必要な観察ができる</p>
夜間看護 (1時間)	夜勤開始に伴う心構え、夜勤業務について知り、前向きな気持ちで夜勤に臨むことができる	<p>1. 夜勤開始前の不安を明確にすることができる</p> <p>2. 夜勤時の体調管理を知る</p> <p>3. 夜勤帯の報告体制について述べるができる</p> <p>4. 夜間の看護業務の概要を知る</p> <p>5. 自分ができる夜間急変時の対応を考え、述べるができる</p> <hr/> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 夜勤時、リーダー看護師に患者の状態・自己の業務状況を報告することができる</p>

【キャリアラダー研修】

1. レベルⅠ

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
多重課題 (1時間)	多重課題・時間切迫の状況下で優先順位が判断でき、他者の協力を得ながら看護が実践できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 優先順位の根拠を述べることができる。 2. 患者の状態変化に気づきを示す。 3. 患者の状態をアセスメントできる。 4. 他スタッフに応援要請をする判断ができる。 5. 他スタッフに相談、報告ができる。 6. 患者へ接遇に配慮した態度で接することの必要性が理解できる。 <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の安全に配慮した優先順位を自ら選択できる 2. 他スタッフに自ら応援要請ができる。 3. 時間切迫状況においても患者に配慮した態度で接することができる。
メンバーシップ研修 (1時間) *R5 年度のみレベルⅡで未受講者も受講	医療チームのメンバーとしての役割を理解し、メンバーシップを発揮するための行動を明確にすることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種連携について理解することができる 2. 固定チームナーシングにおけるメンバーの役割がわかる 3. メンバーシップを発揮するために必要な行動が理解できる 4. メンバーシップを発揮するための自己の行動目標を見出すことができる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の仕事を遂行することができる 2. リーダー看護師に報告・連絡・相談ができる
フィジカルアセスメント (1時間30分)	フィジカルアセスメントの意義や知識、情報収集するための手法を理解することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントとは何かが理解できる。 2. フィジカルアセスメントを行う目的を理解する 3. 呼吸器系・循環器系・消化器系に関する異常音の聞き分けができる 4. 事例患者の変化を予測した意図的な情報収集を実施できる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントするために必要な観察点を述べることができる 2. 患者の身体、生理的情報からアセスメントしたことを述べるができる
看護倫理研修 (1時間)	日々の看護実践の中で倫理的に問題と思うことを言語化でき、解決策を考えることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理原則を知る 2. 日々の看護の中で倫理的に問題と思うことを言語化できる。 3. 倫理的に問題と思ったことの解決策を考えることができる。 <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他者の倫理カンファレンスに参加し、自己の考えを発言することができる
6か月振り返り研修 (1時間)	入職6か月を振り返り、自己の成長を認め、出来ていないこと不安なことを言語化でき、今後の方向性を考えることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人基礎力評価表を用いて客観的に評価し、振り返ることができる 2. 6か月でできるようになったこと、まだできていないことを振り返り、自己の成長を認めることができる。 3. 出来ていないことをどのように解決できるか前向きに考えることができる。 4. 自分が目指す看護師像に向けた行動を修正することができる <p>【OJT 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出来ていないこと対し、自主的にチャレンジすることができる 2. 自分が目指す看護師像に向けた行動を行うことができる

看護リフレクション (自分が大切にしている看護) (30分)	自分が実践した看護を振り返り、自分が大切にしている看護を明確にすることができる	1. 自分が実践した看護場面を振り返ることができる 2. 看護場面を振り返り、自分が大切にしている看護を明確にすることができる 3. 自分が大切にしている看護・2年目に向けた自己の課題を述べる 4. 他者の発表から、得られた学びを明らかにすることができる
		【OJT 目標】 1. 自己の課題達成に向けた、行動がみられる

2. レベルⅡ

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
看護管理研修 (NHO・当院の役割と目標の理解) (1時間)	NHO が担う医療に関心を持ち、目標達成に向けた行動を明確にすることができる	1. NHO が担う医療について理解することができる 2. 当院の役割と看護の特徴を理解することができる 3. 組織の一員として、病院目標・看護部の目標・病棟目標・自己の目標が関連していることがわかる 4. 目標達成に向けて、自分ができていることを述べる 【OJT 目標】 1. 目標達成を意識した行動をすることができる
ケーススタディ【導入】 (30分)	ケーススタディの目的を理解し、ケーススタディを行うための基本的知識が理解できる	1. ケーススタディを行う目的を理解する 2. 日々の看護実践を論理的にまとめる方法について理解することができる 3. ケーススタディのまとめ方、論文の記載方法が理解できる 【OJT 目標】 1. 計画的にケーススタディに取り組むことができる
医療安全研修 (KYT) (1時間30分)	患者の背景・環境から、潜在する危険を考え、事故防止策を明確にすることができる	1. KYT の必要性を理解することができる 2. 患者の潜在する危険を述べる 3. 潜在する危険に対して、事故防止策を述べる 【OJT 目標】 1. 実際の患者で予測できる危険を考え、事故防止策が看護計画に反映できる
看護倫理 (1時間)	倫理的問題に対して、患者・家族の思いを反映したケアを明確にすることができる	1. 倫理原則について学ぶことができる 2. 倫理原則から倫理的問題を述べる 3. 倫理的問題の解決に向け、患者・家族の思いや希望に配慮したケアを述べる 【OJT 目標】 1. 自部署の中で感じた倫理的ジレンマを述べる (倫理カンファレンスの実施) 2. 患者・家族の思いや希望に配慮したケアを考え、実施することができる
留学研修 (6時間)	他部署の役割・特徴を知り、看護を経験することで、自部署に活かせる看護を見出す	1. 他部署の役割・特徴について学ぶことができる 2. 未修得技術・未経験領域の患者の看護について経験することができる 3. 自部署の実践に活用できる看護を述べる

	とができる	【OJT 評価】 1. 留学研修での学びを、自部署で実施できる
ケーススタディ発表会 (30分)	1. 論理的視点で自己の看護を振り返り、看護実践の意味づけができる 2. 他者の看護実践を聞き、学びを得ることができる	1. 自己の看護実践を振り返ることができる 2. 日々の看護実践を論理的視点で意味付けを行い、課題を述べるができる 3. 自己の看護実践を他者にプレゼンテーションできる 4. 他者の発表内容から、得られた学びを明らかにすることができる
		【OJT 目標】 1. 自己の課題達成に向けた、行動がみられる

3. レベルⅢ

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
リーダーシップ研修 I (2時間) *R5 年度のみレベルⅡの未受講者も受講	看護実践に必要なリーダーシップについて理解し、必要なリーダーとしての行動を明らかにすることができる	1. 固定チームナースングにおける日々リーダーの役割を理解することができる 2. リーダーシップを発揮するための効果的なコミュニケーションを理解する 3. リーダーとしての的確な報告を学ぶことができる 4. リーダーシップを発揮するための自己の課題を述べるができる 【OJT 目標】 1. 日々リーダー実践に向けた自己の課題を解決するための行動をとることができる 2. アサーティブコミュニケーションを実施することができる 3. 日々リーダーを実施し、メンバーに指示・連絡を行い、業務調整することができる 4. 部署の看護師長に的確に報告することができる
看護管理研修（看護ができる経営参画） (1時間30分)	当院の経営状況を理解し、看護ができる経営参画を考え自己の行動を明らかにすることができる	1. 当院の経営状況について理解することができる 2. 看護ができる経営参画について述べるができる 3. 経営参画するため自己の課題を明らかにし、具体的な行動を考えることができる 【OJT 目標】 1. 自部署に必要な看護ができる経営参画について記述することができる 2. 1について、短期目標・長期目標を設定し、自己の行動計画を立案することができる 3. 経営を意識した行動を行うことができる 4. 目標に対する評価と自己の行動に対する評価について記述することができる
後輩育成研修（コーチング） (2時間)	後輩育成に必要な基本的知識を学び、後輩指導に向けた自己の課題を明確にすることができる	1. 成人学習者の特徴を理解することができる 2. 後輩の力を引き出す教育手法（コーチング）について理解することができる 2. 後輩を育成するための、自己の課題を述べることができる 【OJT 目標】 1. 後輩指導時に後輩の思いを聞くことができる（コーチングの実施） 2. コーチング実施場面を振り返り、後輩指導における自己の傾向を見出すことができる

<p>リーダーシップ研修 I リフレクション (1時間)</p>	<p>日々リーダーとしての自己の行動を振り返り、今後の課題を明らかにすることができる</p>	<p>1. 固定チームナースングにおける日々リーダーの実践を振り返ることができる 2. 自己の課題から具体的な行動計画を述べることができる</p> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 自己の行動計画に基づいて実践することができる 2. 日々リーダーとしての自己の行動を振り返り、他者と共に評価を行うことができる 3. 日々リーダー時に、患者のことを考えたリーダーシップ行動をとることができる（発言が聞かれる）</p>
<p>看護倫理 (意思決定支援) (1時間30分)</p>	<p>患者・家族の意思を尊重した意思決定に必要な支援を明確にすることができる</p>	<p>1. 意思決定支援における基本的知識を理解することができる 2. 意思決定に関わる倫理的問題に対し、患者・家族の思いや価値観を理解した支援を述べることができる</p> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 部署の看護倫理上の問題を提起することができる 2. 患者・家族の意思を聞くことができる 3. 4分割法を用いて倫理カンファレンスを実施し、患者にとっての最善のケアを見出す 4. 3をスタッフ間で共有し、患者にとって最善のケアを提供することができる</p>

4. レベルIV

<p>研修名 (予定時間)</p>	<p>研修目的</p>	<p>研修目標</p>
<p>リーダーシップ研修 II (2時間)</p>	<p>マネジメント視点を持ったリーダーシップを理解し、自己の課題を明確にすることができる</p>	<p>1. 固定チームナースングにおけるリーダーの役割について理解することができる 2. リーダーシップに必要なスキルについて理解することができる 3. マネジメントについて理解できる 4. マネジメントの視点からリーダー像を述べることができる 5. リーダーシップを発揮するための、自己の課題を述べることができる</p> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 自己の課題を達成するための行動が実施できる 2. マネジメントの視点を持った発言が聞かれる 3. マネジメントの視点を持ってリーダーシップを発揮することができる</p>
<p>ファシリテーション (2時間)</p>	<p>ファシリテーションにおける自己の課題を明確にすることができる</p>	<p>1. ファシリテーターの役割について理解できる 2. 効果的なファシリテーションの方法について理解できる 3. グループワークの場でお互いがファシリテーションを意識しながら話し合いができる 4. ファシリテートにおける、自己の課題を述べることができる</p> <p>【OJT 目標】</p> <p>1. 部署内のカンファレンスでファシリテーションを実施し、参加者の意見を引き出すことができる 2. カンファレンス参加者全員が意見を言うことができる 3. ファシリテーションにおける振り返りを行い、ファシリテートにおける自己の傾向を見出すことができる</p>

看護倫理 (倫理的問題解決に向けた行動) (1時間30分)	患者の全体像から倫理的問題を明確にし、対応策から倫理的問題の解決に向けた、自己の行動を明らかにすることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理原則を用いて倫理的問題を明確にすることができる 2. 倫理的問題を解決するために不足している情報を述べるることができる 3. 倫理的問題を解決するにあたり、患者にとって最善な方法を考え、述べるることができる 4. 倫理的問題解決に向けた自己の行動を述べるることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者・家族の思いを引き出し、チーム間で情報共有できる 2. 倫理的問題に対し、カンファレンスを開催することができる 3. 倫理的問題解決に向け、主体的に行動することができる
-------------------------------------	---	--

5. レベルV (前期)

研修名	研修方法及び内容	評価方法
看護管理を学ぶ意義・看護サービスマネジメント・組織の成り立ちと運営	e-ラーニング	レポート
リーダーシップと組織変革	e-ラーニング	レポート
看護管理プロセス	e-ラーニング	レポート
看護サービスと経営	e-ラーニング	レポート
組織目標と人材育成	e-ラーニング	レポート
情報管理と看護の質	e-ラーニング	レポート
看護管理とコミュニケーション・専門職として必要な自己管理	e-ラーニング	レポート
多職種におけるマネジメント	e-ラーニング	レポート
看護の質評価	e-ラーニング	レポート
安全管理の動向と医療安全体制	e-ラーニング	レポート
働きやすい職場づくり	e-ラーニング	レポート
保健医療福祉サービスの提供体制	e-ラーニング	レポート
看護管理における倫理・これからの看護管理者に求められること	e-ラーニング	レポート
国立ハンセン病療養所・国立高度専門研究センター・国立病院機構の運営	e-ラーニング	レポート

※「キャリアラダー研修」において一度研修を受講し、再度受講したい場合は自己研鑽での受講となる。また、再受講は講義のみとする。それ以外（グループワーク等）は原則、再受講できない。但し、必要性がある場合は看護部長の承認を得て認められる。

6. レベルV（後期）

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
取り組み発表 (1時間30分)	自部署の問題と課題を明確にすることができる	1. 取り組みについて振り返ることができる 2. 自部署の問題と課題を明確にすることができる 3. 他者にプレゼンテーションすることができる 4. 他者の発表を聞き、学びを得ることができる
		【OJT 目標】 1. 看護実践の場面で役割モデルとしての行動をとることができる 2. 部署の問題に対し、主体的に解決に向けた行動をとることができる

※「キャリアラダー研修」において一度研修を受講し、再度受講したい場合は自己研鑽での受講となる。また、再受講は講義のみとする。それ以外（グループワーク等）は原則、再受講できない。但し、必要性がある場合は看護部長の承認を得て認められる。

【役割別研修】

研修名	研修目的	研修目標
プリセプター・実地指導者フォローアップ研修 (1時間)	実地指導者・プリセプターとして、自己の関りを振り返り、課題と後半の指導に向けた解決策を見出し、意欲的に取り組むことができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役割実践評価表をもとに6か月間の関りや指導を振り返ることができる 2. 実地指導者・プリセプターを行う中での成功体験や悩みを明らかにすることができる 3. 実地指導者・プリセプター自身の思い、考えが情報共有でき、今後の課題を明らかにすることができる 4. 課題から解決策を見出し、それぞれの役割における具体的行動を明らかにすることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の課題解決に向けた行動をとることができる
固定チームナーシング活動報告会 (1時間30分)	固定チームナーシングの振り返りを行い、チーム課題を明確にすることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年間の固定チームナーシングの活動を振り返りことができる 2. チームの活動状況から、次年度への課題を述べることができる 3. 他者の発表を聞き、学びを得ることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. チームの課題に対し、解決に向けた行動をとることができる
プリセプター導入研修 (1時間)	新人看護職員を支援するための知識を習得し、役割実践に向けた自己の行動を明確にすることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の新人看護職員教育体制について理解することができる 2. プリセプターとしての役割を理解することができる。 3. プリセプターとして必要なことを述べるすることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 役割実践に向けた行動をとることができる
実地指導導入研修 (1時間)	実地指導者の役割実践するための知識を習得し、新人看護職員の指導に向けた自己の行動を明確にすることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実地指導者の役割を理解することができる 2. 当院の新人看護職員の教育体制について理解することができる 3. 新人看護職員への支援と介入方法について理解できる 4. 新人看護職研修教育計画に基づいたOJTの立案・実施・評価方法を理解することができる 5. 実地指導者における自己の行動を明確にすることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 役割実践に向けた行動をとることができる

【看護研究（自己研鑽）】

研修名	テーマ	研修目的	研修目標	研修内容
看護研究 講義	看護研究を始め るにあたり、留 意すること (1時間)	看護研究の意義を理 解し、研究計画書の 書き方が分かる	1. 看護研究の意義を理解する 2. 倫理的配慮の必要性を理解する 3. 研究計画書の書き方を学ぶことが できる 4. 看護研究に取り組む意欲を示す	1) 看護研究とは 2) 倫理的配慮とは 3) 研究計画書の書き方
	論文のまとめ方 (1時間)	論文の構成と分かり やすい書き方を理解 し、効果的な発表方 法を知る	1. 論文の構成について理解する 2. 論文作成の注意点を理解する 3. 発表の種類を知る 4. 効果的な発表方法を知る	1) 論文の構成要素 2) 論文の作成のコツ 3) 発表の仕方 4) プレゼンテーションの要素 5) 効果的な発表方法とは

2) 看護研究指導

研修名	研修目的	研修目標
看護研究 相談会 (1組30分以内)	看護研究実施上の問題が解決 できる	1. 看護研究の実施における困りごとを明確にすることができる 2. 解決に向けた方法が明確になる

【看護全体研修（自己研鑽）】

研修名	研修目的	研修目標
看護実践が見える効 率的に書く看護記録	実施した看護が見える看護記 録の記載方法を学び、実践で 活用することができる	1. 看護の記録記載時の注意点がわかる 2. 看護記録を効率的に記載する方法が理解できる
多職種連携と退院支 援	自施設の退院システムと退院 時の多職種連携時の看護師の 役割を理解し、退院支援に活 かすことができる	1. 自施設の退院システムについて学ぶことができる 2. 退院支援における多職種連携の必要性について理解できる 3. 退院支援における看護師の役割と支援方法について理解できる
エンゼルケア	死後の人体の変化を考慮した エンゼルケアを実施するた めの知識を得ることができる	1. 死後の人体の変化を知ることができる 2. エンゼルケアの方法を知ることができる 3. エンゼルケアが家族に与える影響や効果を理解することができる
ICLS シミュレーシ ョン	二次救命処置に関する正しい 知識と質の高いCPRの技術を 学び、二次救命処置を実践で 活用することができる	1. 正しいCPRの方法を知ることができる 2. 成人の心停止アルゴリズムを基に、二次救命処置の一連を実施するこ とができる
重心看護 —栄養管理に ついて—	重症心身障害児(者)の栄養に 関する知識を学び、今後の看 護実践に活かすことができる	1. 経腸栄養剤の特徴が理解できる 2. 重症心身障害児(者)の特徴を考えた栄養アセスメントに必要な情報 が理解できる 3. 重症心身障害児(者)の食事支援の注意事項を知ることができる
心不全看護	心不全に関する基本的知識を 学び、日々の看護実践に活 かすことができる	1. 心不全の病態生理が理解できる 2. 心不全における観察・ケア時の注意点を学ぶことができる
呼吸ケア	呼吸のフィジカルアセスメン トを学び、慢性呼吸器疾患患 者への効果的な排痰方法につ	1. 呼吸のフィジカルアセスメントが理解できる 2. 慢性呼吸器疾患患者が安楽に過ごせるポジショニングについて理解で きる

研修名	研修目的	研修目標
	いて知識を習得する	3. 効果的な排痰方法について理解できる
アナフィラキシーショック対応	アナフィラキシーショック時の対応を学び、看護実践に活かすことができる	1. アナフィラキシーショック発症時の病態を理解することができる 2. アナフィラキシーショック発症の原因と症状について理解することができる 3. アナフィラキシーショック時の対応について理解することができる
実習指導伝達講習会	効果的な学生指導及び後輩を育成するためのスキルを身に付けることができる	1. 実習指導者の役割について学ぶことができる 2. 学生の傾向やレディネスについて学ぶことができる 3. 学生や後輩を指導する上で大切な事が理解できる
神経筋疾患患者の食事支援	神経筋疾患患者に安全な食事支援を行うための知識を習得することができる	1. 神経筋疾患患者の特徴が理解できる 2. 神経筋疾患患者への食事支援時の注意事項を知ることができる 3. 神経筋疾患患者の特徴を考えた栄養評価に必要な情報が理解できる

【療養介助職研修】

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
介護職における倫理 (1時間)	療養介助職における倫理について学び、日々の介護実践で倫理的行動に繋げることができる	1. 療養介助職における倫理について理解することができる 2. 倫理基準、倫理綱領について理解することができる 3. 自部署の中にある倫理的問題を明確にすることができる 4. 倫理的問題を解決する方法を述べることができる 5. 倫理的問題解決に向けた自己の行動を述べることができる
		【OJT 目標】 1. 倫理的問題に対し、カンファレンスを開催することができる 2. 倫理的問題解決に向け、主体的に行動することができる
介護記録の書き方 (45分)	介護記録の必要性を知り、介護実践がみえる介護記録の書き方を習得することができる	1. 介護記録の必要性を理解することができる 2. 介護記録の書き方（5W1H）を知ることができる 3. 介護がみえる介護記録の書き方について学ぶことができる
		【OJT 目標】 1. 介護がみえる介護記録を記載することができる
患者急変時の対応 (1時間)	急変時の対応について学ぶことで実践に活かすことができる	1. 急変患者を発見した時の対応について理解できる 2. 患者の状況を適切に報告することができる 3. 急変時に必要な物品を述べることができる 4. 正しい胸骨圧迫を実施することができる 5. AEDの装着、操作を実施することができる
		【OJT 目標】 1. 患者の状態について、適切な報告が看護師に実施することができる
取り組み発表	1年間の取り組みを振り返り、他者と共有することができる	1. 介護の取り組みについて振り返り、他者にプレゼンテーションすることができる 2. 他部署の発表を聞き、得られた学びを明らかにすることができる

【看護補助者研修】

研修名 (予定時間)	研修目的	研修目標
チームの一員としての看護補助業務の理解	自己の役割を明確にし、働くうえで必要な看護師や同僚との連携を理解することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護補助者の業務範囲について理解できる 2. 報告・連絡・相談について理解することができる 3. 他職種との連携・コミュニケーション方法について理解できる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 業務範囲内で業務を遂行することができる
看護補助業務における医療安全 —患者誤認防止— (30分)	患者の安全を守るための医療安全における基礎知識を学び、医療事故を起こさないための注意点と対応策を理解することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理体制について知ることができる 2. インシデントの発生要因を知ることができる 3. インシデント発生時の対応について理解できる 4. 患者確認するための方法や注意点を述べるることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデント発生時、看護師に適切な報告をすることができる 2. 適切な患者確認が実施できる
感染予防対策 (30分)	感染予防における基本的知識を学び、適切な手洗い・手指衛生を実施することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染予防について理解できる 2. 手洗い・手指衛生の必要性・タイミングについて理解できる 3. 手洗いにおける自己の傾向を知ることができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切なタイミングで手洗い・手指衛生が実施できる 2. 適切な方法で手洗い・手指衛生が実施できる
排泄のお世話 (30分)	排泄のお世話について注意点や方法を学び、安全に配慮し実施することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 排泄のお世話の方法・留意点を知ることができる 2. ボディメカニクスについて理解することができる 3. 患者の思いに配慮した排泄のお世話を実施することができる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師と共に患者の思いに配慮した排泄のお世話・声掛けが実施できる
倫理の基本 (30分)	医療機関で働く者に必要な倫理について学び、日々の実践に活かせる内容が明らかになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 守秘義務・個人情報保護について学ぶことができる 2. 医療現場で求められている倫理的視点・行動を学ぶことができる 3. 援助者としての責任について理解できる <hr/> 【OJT 目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 守秘義務の遵守・個人情報保護など援助者としての倫理的行動をとることができる